

居合道たより36号



居合道ながさき



大鼓の打たれて処暑の音色かな (小澤克己)・ 処暑(しよしよ)

～ 大鼓の打たれて処暑の音色かな ～

小澤克己(おざわ かつみ 1949年8月1日 - 2010年4月19日)は、埼玉県出身の俳人として活躍した「処暑」の句です。この俳句には大いに共感するものがあります。季節を運んでくるのは自然だけでなく、祭りやお盆の行事など地域風情がほんの少し、涼しさを運んでくれる処暑を歌った句です。蓮田や稲田、土手の上を風が吹き渡っていきます。2023年8月23日(水)は処暑(しよしよ)です。二十四節気の一つで、処は落ち着くという意味があり、処暑は、暑さが落ち着き始める頃という意味があります。処暑の頃は、まだまだ厳しい残暑の日がありますが、北の高気圧が現れ、涼しい空気が入りやすくなります。残暑は、立秋(8月8日頃)から秋分(9月23日頃)までの間の暑さを言います。



写真:ひまわり
花言葉:「希望」

お知らせ(1)・・・長崎県居合道演武大会・居合道講習会 開催

令和5年度長崎県居合道段別選手権大会及び居合道講習会を10月1日(日)長崎県立武道館にて開催いたします。居合道会員皆様の積極的な参加をお願いいたします。

- 日時 令和5年10月1日(日)10時00分～16時00分
- 会場 長崎県立武道館(佐世保市熊野町90 Tel 0956-22-2194)
- 内容
 - 講習会 10時00分～12時00分
 - 講師 教士七段 高木志伸
 - 内容 全日本剣道連盟居合(解説)
 - 携行品 全剣連居合道教本、メモ帳、筆記用具、居合道手帳
 - 受講料 一般 1,500円、学生(小中高) 500円
 - 演武大会 13時00分～16時00分
 - 審判員 審判長 教士七段 高木志伸、審判員 居合道七段
 - 内容 全日本剣道連盟居合 団体戦(3名1組)
 - 参加料 無料 〆切 9月20日(水)まで



昨年 優勝 口之津健武会(南島原)

昨年 2位 葉志塾(佐世保)



昨年 3位 生武館A(大村)



昨年 3位 生武館B(大村)

第5回長崎県居合道演武大会実施要領

【居合道の演武大会の目的】

居合道修業で最も大切なことは礼儀にあります。その目的は精神の鍛錬が第一で、身体の練磨、技術の訓練という順になります。技の修業ばかりやって心の修業を怠るならば、深味のある居合道、人格は出来ません。稽古目標を立てて、もっともふさわしい方法により組織的な稽古をすることも大切ですが、後輩や初心者に対しては、正しい居合道を身につけさせるように留意するとともに、興味を失わせないようにすることや日常生活においても、他の模範となるように努めることが重要になってきます。そのためにも道場を超えた「和気藹々」とした中での居合道の実践的な稽古として長崎県居合道演武大会を団体戦の大会として企画いたしました。

- 日時 ・令和5年10月1日(日)13時00分～16時00分
- 会場 ・長崎県立武道館(佐世保市熊野町90 Tel 0956-22-2194)
- 内容 ・道場ごとに3人でチーム編成をする。
・当日、チームが構成できないところは、他道場との混合チームを編成する。
- 編成 ・先鋒(段外～二段)、中堅(三段～五段)、大将(六段、七段)
・各段とも年齢の制限なし
・試合時間(予定)10チーム(3人×10) 10試合×3分×3人=90分予定
- 試合 ・申し込み状況によりリーグまたはトーナメント方式とし、帯刀姿勢
・全剣連居合3本(当日指定)

報告(1)第58回都道府県対抗全日本居合道大会 代表選手決定

8月20日(日)県大会の五段、六段、七段の上位入賞者から長崎県代表として日本一を目指して強化稽古で代表選手を決定しました。

本大会は令和5年10月21日(土)に東京都武道館において開催されます。大会の趣旨は全日本剣道連盟居合の普及振興を図ると共に、古流を伝承するため、各都道府県剣道連盟の代表選手により優勝試合を行い、居合道の技術の向上を図るものです。さらに個人演武者の参加も加え、日頃の修練を披露すると共に、参加者相互の親睦を深め、もって斯道のより一層の発展を期するものです。五段、六段、七段の都道府県代表選手がトーナメント方式で古流2本(自由技)、全日本剣道連盟居合3本(指定技)の計5本の技で対戦し、各段の個人のポイント合計が団体の総合成績で戦います。

本県居合道部は今年度スローガン「パワフル＆スピーディな居合を全国に発信!!」を掲げて日々稽古をしています。代表選手の平均年齢40.3歳と全国でも一番若く、技のキレが良いのが特徴です。団体上位を目指して挑みます。皆様の応援を宜しくお願いいたします。

<第58回(2023)全日本居合道大会 長崎県代表選手>

監督 高木志伸(居合道部長 居合道教士七段)

五段 作永憲昭(佐世保剣心会・佐世保市)、六段 畑中健佑(遊道会・長崎市)

七段 宮崎大輔(友弔会・大村市)



長崎県代表選手及び監督

読み物(1)・・・範士 山蔦 重吉(やまつた しげよし)

山蔦 重吉(やまつた しげよし、1887年(明治20年)10月10日 - 1982年(昭和57年)2月23日)

明治20年(1887)10月10日宮城県玉造郡岩出山町に生まれる。

明治39年(1906)6月棋須賀海兵団入団。同44年任官。

大正3年(1914)日独戦争に従軍、勲七等青色桐葉章を受く。横須賀海兵団において、飯島吉大郎先生より、剣道および居合道の本格的指導をうける。

大正6年(1917)7月海軍士官候補生練習艦八雲に乗艦し北米沿岸、ハワイ、南洋群島等を巡る。大正11年(1922)11月海軍予備役編入、同12年飯島先生の後を継ぎ、横須賀鎮守府剣道師範となる。

大正12年(1923)4月有信館、中山博道師の門に入る。

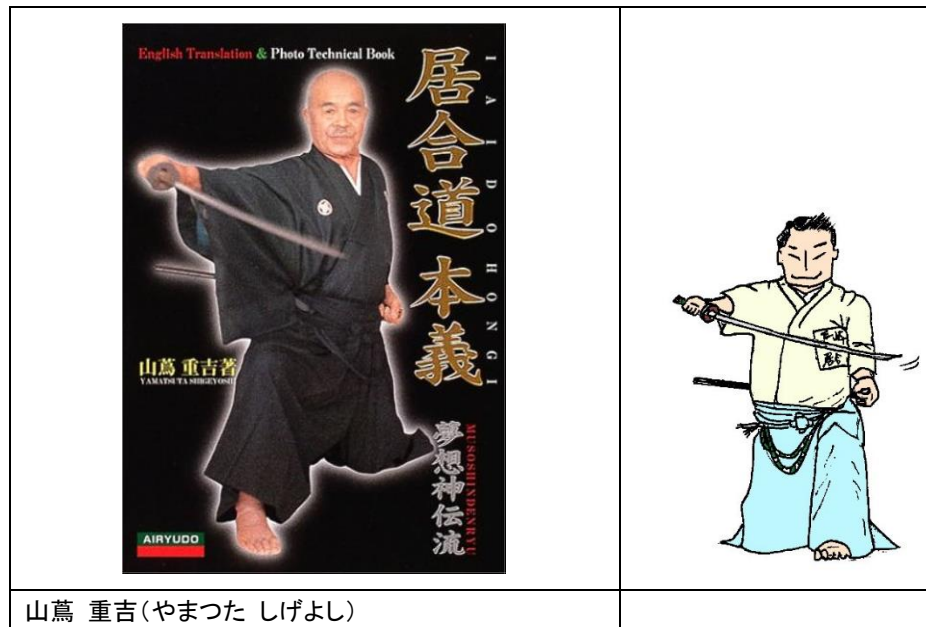
昭和12年及13年(1937・1938)居合術教士、剣道教士となる。

昭和32年(1957)5月居合道八段。

昭和34年(1959)5月居合道範士。昭和39年(1964)5月剣道範士。

昭和41年(1966)5月居合道九段。

昭和46年(1971)11月出生地宮城県岩出山町城山に、地元有志や門下生一同の拠資により、立像建立される(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)『始める!居合道 夢想神伝流』より



山蔦 重吉(やまつた しげよし)

